

【健康問題・生活状況/ニーズ/対応】

情報収集の項目	2015/4/25(土)	2015/4/26(日)
Logistics	<p>国家緊急オペレートセンターが稼働。 カドマンズとポカラの空港は開いている。 カドマンズ渓谷を出る道路ははまだ片付いていない。 政府が要求しているが、空港での緊急貨物への関税の迅速な処理は行なわれていない。(OCHA)</p>	<p>カドマンズ渓谷を出る主要な道路にて外へのアクセス可能。 側支線はダメージを受けていて、アクセスが限定されている(OCHA)</p>
Nutrition	<p>情報なし。</p>	<p>情報なし。</p>
Health	<p>死者700から1,000人。(UN) Kathmandu Valleyでは病院は人で溢れ、遺体安置のため部屋がなく、緊急物資も不足している。 病院の緊急物資は使い果たされているという報告があり、軍用のキットを使用するように政府に決定を要求している。(UN) 政府は医療チーム、病院の物資とテント、遺体用の袋を必要としている。(UN)</p> <p>政府は全病院のスタッフを結集し、Kathmanduの病院に医療チームを派遣すると発表している。ChitwanとPokharaでは十分なスタッフがいないため、最も被害が大きい地域であるGorkhaとLamjungに医療チームを派遣する。(UN)</p>	<p>医療対応をサポートするために医療物資の支援のニーズがある。(UN) 負傷者搬送のため、孤立地域へのアクセスのためにヘリコプターが必要である。(UN) KTMの主要病院は機能はしているが、業務オーバーである。Ramechhap, Nuwakot, Sindhupalchowkの病院では被害があり、Gorkhaでは不確かではあるが被害は深刻である。しかし病院は診療を継続している。(UN) いくつかの医療チームが活動を行っている。現時点での優先事項は物資と薬である。そして緊急事項は、負傷者への対応と遺体の管理である。頭部と脊椎の負傷者はヘリ搬送が必要である。(UN) 地震後の疾患が懸念されている。Kathmandu Valleyではすでに下痢症が問題となっている。(UN) 病院の能力把握の調査のためのアセスメントが必要である。被害が大きい5つの地域のアセスメントが26日にヘリコプターで実施される予定である。(UN) 国内外のヘルスチームが活動を展開しているが、移動手段と物資が問題となっている。(UN) 外科医、整形外科医、救命士が必要である。(UN) 医療用テント、毛布が必要である。(UN) Tekuの中央ワクチン倉庫は冷蔵・冷凍管理を現在は発電機により継続できているが、燃料がないために今後10時間以内に発電できなくなる。ワクチンへの被害を防止するために、2,000リットルの燃料が至急必要である。(UN) 麻疹風疹混合ワクチンのストックが中央レベルでない。地震後の麻疹のアウトブレイクの可能性を考慮すると、麻疹風疹混合ワクチンの準備が至急必要である。</p> <p>国際的なSARチームがKathmanduに到着予定である。インド、パキスタン、中国、イスラエルのSARチームが到着し、活動を開始した。(UN) アメリカの医療チーム(8人)が医療キットを持ってネパールに入っており、活動を展開する予定である。(UN) MOHPに24時間の緊急ヘルス本部が立ち上がり、国家緊急対策センターと協働する予定である。(UN) WHOは明日、医療対応をコーディネートする医療チームを到着するように派遣することを決定した。また外科キットを提供した。(UN) KTMの3病院には600の遺体が安置されており、多くの負傷者のためのベッドが確保できない状況で、床で治療を行っている。 500人はDhulikhelの病院に運ばれたが、半数はそのままである。(UN) 薬と消耗品は至急必要であり、UNICEFの緊急ヘルスキットで薬と消耗品が供給される。1つのキットで約10,000人を3か月カバーできる。またUNICEFはテント15個、亜鉛、経口補水塩を11の希望のあった地区に提供することを決めた。 WHOは急性期の健康ニーズをカバーするために、4つの緊急ヘルスキット(医薬品や医療物品)を病院に提供した。またWHOは被災者の健康ニーズや保健施設の被害を継続的にアセスメントMOHPを支援していく。(WHO)</p>
Emergency shelter	<p>情報収集中</p>	<p>軍警察が到着した地域で5つの避難所が開設した。これらには水源がある。被災者人数は不明。(OCHA) 27日午後にはクラスターミーティング開催予定。(OCHA)</p>

情報収集の項目	2015/4/25(土)	2015/4/26(日)
Camp management & Cordination	情報収集中	カトマンズ周辺にキャンプとして使用できる16のオープンスペースを特定している。(OCHA)
Protection	情報なし(OCHA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Regional officeからの支援はIASCのGBV AoRを通して、4/27～開始予定(OCHA)。</li> <li>女性と子供の部門は、被災した全ての女性と子供の事務所職員に回覧を送るでしょう。この回覧は、職員が完成させて返すチェックリストが含まれる。地区職員は被災地に女性グループを動員させるでしょう(OCHA)。</li> <li>心理社会的カウンセラーのリストは必要性に応じて使われる地区レベルで提供される(OCHA)。</li> <li>Handicap Internationalは、TU教育病院の外に整形外科用キャンプを確立した(OCHA)。</li> <li>次回ミーティング: 4/27 10:30～</li> </ul>
Food security	政府は緊急時の食糧備蓄に関して明らかにしていない。(UN)	クラスターミーティングを実施中。(UN)
Emergency telecommunication	情報なし(OCHA)	情報なし(OCHA)
Early recovery	情報なし(OCHA)	情報なし(OCHA)
Education	情報なし(OCHA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地の学齢期の子ども達(4-18才)のために仮設の学習スペースが保護クラスターとの協働で確立されている。ここでは心理社会的カウンセリングや鍵となる人命救助の情報、予防接種等が提供される(OCHA)。</li> <li>次回ミーティング: 4/27 14:00</li> </ul>
Sanitation, Water & Hygiene	情報なし(OCHA)	<p>カトマンズの3つのキャンプ1500人に対し20タンク(3万L)が提供された。(OCHA)</p> <p>追加の水タンクを16キャンプに提供することに了承した。ENPHOは水のsafty complianceについてモニターを要求。(OCHA)</p> <p>クラスターは11の優先地域を供給リストに特定した。次回のクラスターミーティングは27日午後2時からの予定。(OCHA)</p>
Communicating with Affected Communities	情報なし(OCHA)	情報なし(OCHA)

情報収集の項目	2015/4/27(月)	2015/4/28(火)
Logistics	<p>ニーズ:ロジコーディネーションの強化、情報共有、尽力の重複を減らして、入手できるロジ資源の有効化  山系地形、インフラのダメージ、橋の崩落、道のダメージによりアクセスが限定されている。道路が開通していないため、人道支援物資が運搬できない  空路、陸路によるサポートは可能な場所もあり、人道支援物資が運んでいるところもある  対応:カトマンズ国際空港にHSAが作られた。カドマンズにロジクラスターが作られた。  ロジクラスターと国家機関がcivil-Militaryコーディネーションのためのスタッフを配備し、連携する。  ギャップや制限:インフラへの被害が大きいこと、貨物の通関が遅いこと、空港とカドマンズは道を通ったが、他の地域はまだ通らない。(OCHA)</p>	<p>ニーズ:限られているがヘリコプターがあること、支援物資の運搬の必要性がある。カトマンズバレーの外に中間準備地域が必要。  対応:HSAと人道支援機関による32の移動型保管ユニットが機能している。海外の軍の資源からサポートを得て、発電機(SixM18s)がある。  ポカラ空港は稼働しており、アメリカの大型輸送機(Hercules plane)が人道支援の運搬を強化している。NepalgunjとBirgunjiに運営拠点を置かれる。  Tribhuvan国際空港は、物資や救助隊の入国、外国人の出国のため、混雑している。クラスターは現地機関とDHL(アメリカ国際宅配便)のサポートで混雑改善を試みている  ギャップや制限:カドマンズ国際空港は、190トンの支援物資を運ぶ飛行機のみを対処している。飛行機燃料の限界が心配である。</p>
Nutrition	<p>5歳以下の子供、妊婦、授乳中の母親の対象数が算出されている。28日に開催予定のクラスターミーティングで判明する予定である。(UN)</p>	<p>被害が大きかった21全ての地区で栄養アセスメントが必要であり計画される予定である。(UN)</p> <p>クラスターは栄養対策のための物資の事前準備について再検討を実施した。(UN)</p> <p>早期の栄養アセスメントに従い、優先される被災地域全てに介入がされる予定である。(UN)</p>
Health	<p>死者3,351人、負傷者6,833人。(UN)</p> <p>医療チームを含むSARの投入が始まっている。政府は活動が調整され被災地に確実に届けられるために全ての投入される医療チームがMOHPと協働することを望んでいる。(UN)</p> <p>中核の病院でICUのベッドがなく、病院の受け入れは限界である。遺体管理が課題となっており、外科病棟が不足している。病院は酸素などの医療物資や外科医、整形外科医、救命士などの人材を必要としている。(UN)</p> <p>中央レベルのコーディネーションはHEOCが行う。MOHPはベテランの管理職を医療対応のコーディネートのために任命した。さらに、DUDBCは中核レベルの病院の建物のラピッドアセスメントを要求している。(UN)</p> <p>国内の4医療チームがGorkha地区にDhading地区に派遣されていた1海外医療チームとともに派遣された。(UN)</p> <p>クラスターはMOHPと中核病院にテントを10個提供した。(UN)</p> <p>5つの外科キットが異なる病院に、また450の遺体のための袋がネパール軍隊に提供された。(UN)</p> <p>WHOは政府の急性期の医療提供を支援するために、追加の医療物資とヘルスワーカーを被災地域に投入する。(WHO)</p> <p>WHOは80,000人の3か月間の健康ニーズを満たすために、医薬品や医療物資の入った緊急ヘルスキットを8つ以上提供した。(WHO)</p> <p>WHOはネパールに支援にくる海外の医療チーム、FMTの到着や派遣のコーディネートするためにネパールのMOHと協働している。今日までに20か国の医療チームが支援のオファーを実施している。(UN)</p>	<p>死者4,358人、負傷者8,174人。(UN)</p> <p>MOHPは11の被害が大きい地区のニーズアセスメントとチームの派遣やマネジメントを継続している。(UN)</p> <p>ヘルスインフラに関して、Ramechapp, Nuwakot, Sindhupalchowk, Gorkhaの地区首都以外の多くの保健施設(60-90%)は深刻な被害を、Dolakha, Nuwakotの地区首都の病院は一部被害を受けた。MOHPは被害が最も大きかった地区では首都以外で医療を提供できるようにテントやキャンプの支援を行っている。病院の水の供給は低下しており、衛生状態が悪化している。(UN)</p> <p>医療用テント、外科用機器、負傷者の治療のための薬品が未だ必要である。脊髄損傷患者のための外傷ケアやリハビリが必要である。仮設トイレも必要である。そして、地震災害後の疾病のアウトブレイクに関する情報提供が必要である。(UN)</p> <p>20のクラスターパートナーは人的資源、医療物資、遺体用の袋、水フィルターや浄化器具の提供、そして救護所の立ち上げやそのための物資の提供を支援している。Sindhupalchowk, Dhadingの負傷者がDhulikhel病院に空路で搬送された。(UN)</p> <p>FMTが被災地に救護所を立ち上げている。(UN)</p>
Emergency shelter	情報収集中	情報収集中

情報収集の項目	2015/4/27(月)	2015/4/28(火)
Camp management & Coordination	情報収集中	情報収集中
Protection	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者はテント、dignityキット、リクリエーションキットを必要としている(OCHA)。</li> <li>緊急ニーズには、心理社会的サポートも含まれており、安全な場所や、GBVからの女性・子供の保護、孤立した子供の家族との再統合、女性や子供の衣服である。</li> <li>調達したdignityキット(NFIキット)、CFSの用具は分配への準備が進んでいる。</li> <li>クラスターは、運動場での保護プログラムを始めるために、人々に訓練を始めた(OCHA)。</li> <li>クラスターメンバーは、Bhaktapur, Lamjung, Gorkha, Sindhupalchokに最初にCFSを確立する同意を得た(OCHA)。</li> </ul>	情報収集中
Food security	<p>140万以上が食糧支援を必要としている。75万人が震源地近づくに住んでいる。生計と食の安全に関わる農業への影響は高くなることが予想される。(UN)</p> <p>食糧の移送はKathmandu Valley外部の被災地に向かって。食糧配給は28日から始まる予定である。(UN)</p> <p>Gorka, Lamjung, Sindhupalchowk, Rasuwa, Nuwakot, Dhading, Dolakha, Ramechhapp, Kavre, Bhakapur, Lalitpurをカバーするためにアセスメントのための4チームを配置されている。(UN)</p>	<p>クラスターはMOADと27日に会議を開催した。12地区に優先して食糧支援が必要である。事前のアセスメントによると、1か月約2万トンの食糧が12の被災地域の被災者を支援するためには必要である。(UN)</p> <p>家畜の被害や、家畜の薬、飼料に関する報告もされる。(UN)</p> <p>クラスターは優先順位の高い12地区にラピッドアセスメントチームを派遣する。(UN)</p> <p>約120トンの食糧支援が国内で可能である。クラスターは国の食糧備蓄からGorkhaとDhadingに対する食糧支援を実施している。また、陸路での食糧支援が不可能な地域に対しては空路(ヘリコプター2機)での支援を計画している。(UN)</p> <p>約30トンの高エネルギービスケットと強化食糧(米と大豆のブレンド)をDubaiから得る予定である。(UN)</p>
Emergency telecommunication	情報なし(OCHA)	情報なし(OCHA)
Early recovery	情報なし(OCHA)	情報なし(OCHA)
Education	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスターは、CFSの心理社会的サポートを提供するために、子供の保護の専門家と密接に調整している(OCHA)。</li> <li>クラスターメンバーは大部分の被災地域にアポイントをとっている(OCHA)。</li> <li>メンバーはDEOと共に、学校の被害状況や一時避難所になっている学校の情報集めるといった対応の調整を行っている(OCHA)。</li> <li>メッセージは、child protectionと共に展開され、心理社会的サポート、WASH、Health、Nutrition、child protectionの情報を提供するために、被災した地域にとコミュニケーションをとっている(OCHA)。</li> </ul>	情報収集中
Sanitation, Water & Hygiene	情報収集中	情報収集中
Communicating with Affected Communities	<p>ニーズ:被災者のニーズを決める特定部署のメッセージが発するサポートが必要。</p> <p>ラジオなどの物品を避難所や地域に配布する必要がある</p> <p>対応:ラジオプログラムは、災害後や地域支援の大事なメッセージを被災者に届けることをはじめている。このプログラムは毎日公表し、双方向コミュニケーションと他のセクターの特別なメッセージを含むようになる。(OCHA)</p>	<p>被災地とのコミュは、ラジオとソーシャルメディアが効果的な方法。</p> <p>対応:ラジオが基本的なライフラインメッセージを短波で頻りに送っている。テレビとラジオは、被災地へのメッセージのためこの先数週間の予定がいっぱいである。</p> <p>ギャップと制限:正確で着実な伝達をする必要がある。一般的な媒体での伝達が始められるように、パートナーに伝達をシェアする。ラジオ局が運営されていて、物資サポートが必要でニーズを明確にする。国全体への放送を短波を使っているため、地域への情報が限定されている。</p> <p>被災地との伝達のため、手段やパートナーを明らかにする</p>

